

九州国立博物館 季刊情報誌 アジアージュ

Asiage

KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

Happy New Year
今年もハッピーニヤス



【重要文化財】裝飾法華經 陀羅尼品(部分)
(そうしよくほけきょう だらにほん)
鎌倉時代・12～13世紀<兵庫・太山寺(たいざんじ)所蔵>
展示期間:4/10～4/30

特集

未来への贈りもの

04

今も、これからも HAPPY-ing

釈迦が亡くなった後、時が経つにつれ仏の教えが廃れていくという

仏教独自の歴史観「末法思想」があります。

仏法が衰えると世の中いっただいどうなるの？

危機感を抱いた先人たちは、経典を後世の人々へと伝えるべく行動に出ました。

本展では、彼らが残した数々の贈りものを紹介いたします。

“未来へ何を伝え残すべきか”。

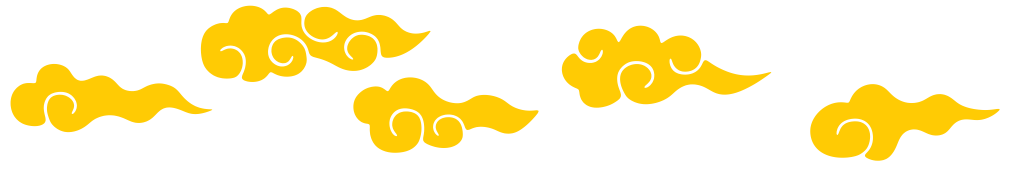
1000年以上もの時空を超え、先人たちの想いが私たちに届きます。

特別展
中国泰山石経と
浄土教美術

未来への
贈りもの

4/10 Tue. ~ 6/10 Sun.





好*聴 研究員の松川博一さんに、
「未来への贈りもの—中国泰山石経と浄土教美術—」
の魅力をききました。

未来に幸あれ…



展示課研究員
松川博一
日本古代史学専門。北海道出身で、九州にあこがれ九博へ。学校のグラウンドは冬はリンクに早変わりという北の大地ですくすく育ち、スピードスケートを得意とする。

仏の教えを不朽不滅に

末法思想はもとは仏教修行者に危機意識を喚起するものですが、実際に災害や疫病の流行、政治権力による弾圧などが訪れると、現実問題として人々の危機感と直結するようになりました。時代劇などでおなじみの「世も末よのお」という台詞も、末法思想から生まれたものです。そして人々は未来に向けて、経典や仏像など様々な形で仏の教えを残し始めたのです。末法の到来が叫ばれ始めた6世紀の中国では、露天の岩肌に経文を刻み仏の教えを不朽のものにしようとしました。それから500年後の日本では、写経を土中に埋納する経塚が全国的に営まれました。皆さんも子どもの頃、タイムカプセルを埋めたことがありますか？
同じように昔の人々も書写した経典を納めた経筒を土中に埋めたのです。本展では、経塚の一大中心地である九州ゆかりの主な50本以上の経筒が一堂に会します。



排仏運動をかくぐって守られた本像は、当時の篤い信仰心を伝える貴重な作品。
【重要文化財】銅造弥勒仏立像(どうぞうみろくぶつりゅうぞう) <当館所蔵>

を描いた浄土教美術が花開きました。全体の鮮やかさや神々しさはもちろん、入滅されたお釈迦様の側で小動物までもがその死を悼んでいる様子が描かれた涅槃図や、浄土世界を描いた曼荼羅図など、細部の描写まで魅力に溢れています。このような浄土教美術品をはじめ装飾経など、今回、東北から鹿児島まで全国から仏教美術の名品が集まります。

未来に伝えたいものは何ですか？

未来に経典を残す試みは、過去の話だけではありません。特別展示室に展示された巨大な経典の拓本は、孤高の拓本家・井上拓歩氏が、約2年の歳月をかけて1文字約80センチ四方、最大長30メートルという中国山東省の泰山摩崖刻経を採拓したものです。この拓本を初めて目にした時、経典を岩肌に刻み込んだ人々のパワーとそれを拓本に採った井上氏のパワーの両方を感じて圧倒され、そしてその後「元気」がわいてきました。



経典を刻み込まれた岩肌のある泰山は、世界遺産にも登録されている。山東省泰山摩崖刻経

浄土教美術や装飾経もあわせて展覧

日本では11世紀頃から末法の人々を救うための仏教として浄土教が広まり、そして阿弥陀様にまつわる説話や極楽浄土への憧れ



信者から動物まで、あらゆる階層が釈迦の復活に驚喜する様子を描いている。
【国宝】釈迦金棺出現図(しゃかきんかんしゅつげんず) <京都国立博物館所蔵> 展示期間:4/10~4/22

泰山石経(たいざんせつきょう)
井上拓歩氏が採拓した山東省泰山摩崖刻経の拓本が、かつてないスケールで博物館に掲げられる。

好*見
見てみよう

「未来への贈りものー中国泰山石経と浄土教美術ー」 展示品ダイジェスト



疫鬼もおののき退く、
善神の勇姿

【国宝】
辟邪絵 梅檀乾闥婆
(へきじゃえ せんだんけんたつば)
平安～鎌倉時代・12世紀<奈良国立博物館所蔵>
展示期間:5/8～6/10
梅檀乾闥婆は子どもたちを十五悪神の危害から守護する善神として信仰を集めました。辟邪絵では疫鬼を退散させる姿が描かれています。



比叡山・延暦寺から
やって来ました。

【国宝】
宝相華蒔絵経箱
(ほうそうげまきえきょうばこ)
平安時代・11世紀<滋賀・延暦寺蔵>
展示期間:4/10～5/6
古様の器形に繊細な意匠の蒔絵を施した優品。金・青金・銀の研出蒔絵で宝相華唐草の団花文と円文をシンメトリックに配置しています。



極楽浄土から
ひゅーん!とひとつ飛び

【国宝】阿弥陀二十五菩薩来迎図(早来迎)
(あみだにじゅうごぼさつらいごうず(はらいごう))
鎌倉時代・13～14世紀<京都・知恩院(ちおんいん)蔵>
展示期間:5/22～6/10
極楽浄土から阿弥陀如来と菩薩たちが、険しい山々を越えて往生しようとする僧侶のもとに飛来する様子を描いた来迎図。スピード感あふれるその情景から「早来迎」の異名で親しまれています。鎌倉時代の来迎図の最高傑作です。



【重要文化財】
空也上人像
(くうやしやうにんぞう)
鎌倉時代・13世紀
<愛媛・浄土寺蔵>



【重要美術品】
瓔珞付銅製経筒
(ようらくつきどうせいきょうづつ)
平安時代・12世紀
<当館所蔵>



【国宝】
銅板法華経・銅笥(どうばんほけきょう・どうばこ)
平安時代・康治元年(1142年)<福岡・国玉神社蔵>



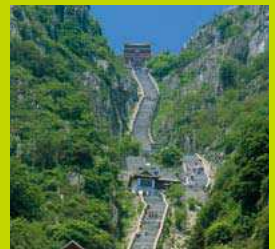
【国宝】
金銅製華鬘
(こんどうせいけまん)
平安時代・12世紀
<岩手・中尊寺蔵>

好*聴

拓本の舞台となった、中国山東省・泰山

中国山東省にそびえる標高1524メートルの泰山は、中国の道教の聖地とされる「五岳」の中で最も尊いとされています。秦の始皇帝が「封禪」という儀礼(皇帝の偉業を天下に知らしめ、天地にその旨を報告し感謝する)を行って以降、神聖な山として歴代の皇

帝により崇められてきました。麓にある泰山の神を祀る寺「岱廟」から山頂へと続くおよそ7000段の石段からなる登山道では、道中、本展で拓本として展示している摩崖刻経や詩文が刻まれた石碑を見ることができます。山全体に祠や廟、宮殿建築が多数点在する泰山は、世界遺産にも登録され、中国悠久の歴史を感じさせてくれます。



未来への贈りもの展に
参加しよう!

好*聴 ①「手寫葵ミニライブ
in 九州国立博物館」



4月28日(土)
①13:30開場、14:00開演
②15:30開場、16:00開演

福岡出身で、昨年公開の映画「ゲド戦記」の挿入歌「テルーの歌」で脚光を浴びた手寫葵。「心の調べ」が特別展「未来への贈りもの」のテレビCMの挿入歌に決定したのを記念し、招待ミニライブを行います。

会場:1F ミュージアムホール
主催:九州国立博物館、読売新聞西部本社、FBS福岡放送
協力:つくす

好*聴 ②記念講演会
「安道壹と摩崖石刻經」

5月12日(土)14:00~16:00

講師:桐谷征一氏(立正大学大学院講師・本納寺住職)
中国石経研究の第一人者による講演会。書家にとって憧れの的である泰山や鉄山の石経、その巨大経典の魅力を紹介するとともに、その制作に関わった謎の僧「安道壹」の足跡をたどります。

会場:1F ミュージアムホール

好*聴 ③天台宗開宗1200年記念
天台声明公演

5月19日(土)14:00~16:00

講師:水尾寂芳氏(天台宗務庁教学部長)
出演:比叡山延暦寺法儀音律研究部、九州西教区聲明研究会
仏の教えを賛美し流麗な節回しで経文を唱える天台声明。今やその芸術性から宗教音楽の域を出て、日本を代表する音楽芸術のひとつといわれています。比叡山延暦寺の僧侶が奏でる荘厳な世界をご堪能ください。

会場:1F ミュージアムホール
主催:天台宗、比叡山延暦寺、天台宗九州西教区、九州国立博物館、読売新聞西部本社、FBS福岡放送

好*見 ④伎楽公演
「三蔵法師 求法の旅」

6月2日(土)14:00~16:00

講師:加藤朝胤氏(薬師寺 執事)
出演:天理大学雅楽部・薬師寺
古代の大宰府でも上演されていたという仮面音楽劇「伎楽」。今回は西遊記でお馴染みの三蔵法師を主人公とした創作伎楽を上演します。海外公演で高い評価を得ている「幻の天平芸能」をお楽しみください。

会場:1F ミュージアムホール
主催:九州国立博物館、読売新聞西部本社、FBS福岡放送
協力:法相宗大本山 薬師寺

申し込み方法

イベント①
1枚のハガキで2人まで申し込み可能です。希望公演時間も明記してください。ただし、本展の入場券(お1人様1枚)を必ずご持参ください。
応募締め切り:4月18日(水)必着

イベント②~④
参加無料・定員各300名 参加希望者は「往復はがき」に
○希望のイベント(②~④) ○郵便番号 ○住所 ○氏名 ○電話番号
をご記入のうえ、下記までお申し込みください。ただし、1枚のはがきで1つのイベント、1人分とします。応募多数の場合は、抽選のうえ参加証の発送をもって発表に代えます。
応募締め切り:イベント開催の10日前まで

応募先/問い合わせ先
〒810-8581
読売新聞西部本社事業部内「未来への贈りもの」展事務局
※応募の際、住所は不要です。
TEL:092-715-6071(土・日祝日除く、午前10時~午後5時)

好*見 観覧ツアー
「井上拓歩が語る中国石経の旅」

5月12日(土)10:00~11:00

講師:井上拓歩氏(拓本家)、松川博一(当館研究員)
30メートルを超える巨大経典の採拓に挑んだ孤高の拓本家・井上拓歩氏。井上氏本人が、拓本作品を前に、泰山・鉄山・葛山の石経全拓という偉業を成し遂げるまでの苦難に満ちた道のりを切々と語ります。

集合場所:1F エントランスホール
※事前申込不要。聴講無料。ただし、特別展観覧料は必要。
事前にチケットをご購入の上、ご集合ください。

好*見
見てみよう

あじっば通信

アジアを中心とした国々の文化や歴史を、
見たり触ったりしながら体験できる展示室
「あじっば」からのお知らせです。

虫たちが本から飛び出し、大活躍!
はりきさぎき
針聞書

当館のイチオシ所蔵品「針聞書」は、織田信長も生きていた戦国時代に書かれた東洋医学書です。全152ページで、①鍼(針)の基本的な打ち方、病氣別の針の打ち方などを記した聞き書き、②灸や針を体のどこに処方するかを示した図、③体の中にある虫の図とその治療法(針灸や漢方薬)、④臓器や体内の解剖図の4部で構成されています。

特にユニークなのが、想像豊かに描かれている病気を起こす虫たちの図。とつてもかわいらしい虫たちの姿は、これまでぬいぐるみ、絵はがき、Tシャツなどたくさんのグッズとなってよみがえり、当館の人気者となっています。最近も、フィギュアや絵本になったりと、虫くんたちは大忙し!

「針聞書」は、あじっば内ギャラリー「あじぎやら」に展示され、数週間ごとにページの展示替えを行っています。また、「針聞書」のグッズはお隣のミュージアムショップにて販売中です。

※「針聞書」は複製を展示することもあります。



「針聞書」で描かれている虫たちが、人間の体の中で大騒動を巻き起こす物語を描いた絵本「はらのなかのはらっばで」。(フレーベル館刊 定価1,050円)



大
ぼ
く
た
ち
人
気
!!





芍薬、牡丹、菊…
百花繚乱!

かちょうついしゅほん
花鳥堆朱盆

中国・元時代<当館所蔵>
夫婦円満を表す雌雄の鳥など、中国で好まれる花鳥画の定番の様子が刻まれています。最も驚かされるのはその技法。木彫りではなく、漆を幾重にも塗って分厚く固まったものを彫っているのです。
展示期間:3/27~7/1



お盆の裏にはぐりぐりが!

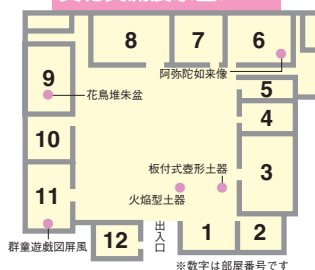
春、始まりの季節です

好*見
見てみよう

ひらく。

春の到来です。たくさんのお花が開き、新たな息吹が感じられるこの季節から、日本の四季は始まります! 開ける、広がる、新たに道をつくる…など、新年度にふさわしい意味合いを持つ「ひらく」をキーワードに作品を見ていきましょう。

文化交流展示室MAP



※数字は部屋番号です

あみだにょらいぞう
阿弥陀如来像

鎌倉時代13世紀<当館所蔵>
阿弥陀如来とは、極楽浄土に住んでいる仏です。この像は、東国武士たちが主導権を握っていた鎌倉時代につくられました。リアルな表情など、生命感あふれる人間的な表現が特徴で、そこに鎌倉武士の気風や時代の感性を見ることができます。



悟りを開いた仏の、リアルな表情

燃え上がるような土器文化
雪国で花開いた、

かえんがたどき
火焰型土器

縄文時代<新潟県津南町所蔵>
縄文時代の代表的な土器としてよく知られている形ですが、実は、使われた時代は縄文時代中期のごく短い期間で、複雑な形状の成立過程は謎のまま。しかも典型的なものが出土するのは、新潟県の豪雪地域だけなのです。ポピュラーなのにミステリアス…縄文時代!の魅惑的存在。



福岡から
弥生文化が
始まる!?



いたつけしきつぽがたどき
板付式壺形土器

弥生時代・紀元前4世紀<当館所蔵>
弥生時代の幕開けを象徴する土器で、口の部分の段差が特徴的です。新しく朝鮮半島から伝わった壺形土器に縄文時代の伝統文様を取り入れ、北部九州でアレンジして誕生しました。貯蔵用の土器として使われたことでしょう。

開くと飛び出す
子どもたち

ぐんどうゆうぎずびょうぶ
群童遊戯図屏風(右隻)

曾我蕭白(そがしょうはく)筆
紙本銀地著色、江戸時代・18世紀<当館所蔵>
屏風は空間を彩る調度品。普段は折りたたんだ状態ですが、ひとたび開くとその場の空気を一瞬にして変える力があります。「群童遊戯図屏風」は、全面に銀箔を貼った華やかな空間に、子どもたちが遊ぶ姿をいきいきと描いたもの。楽しい笑い声が聞こえてくるような作品です。
展示期間:4/24~6/3










日本漆器、ヨーロッパで大ブーム!






～花鳥蒔絵鮫皮貼洋櫃～

日本にヨーロッパの人たちが初めて来たのは、皆さんよくご存じの1543年のポルトガル人による種子島上陸。以降、ヨーロッパからの宣教師や貿易商人など多くの西洋人が日本に出入りするようになり、桃山から江戸時代にかけて、ヨーロッパ人向けに作られた日本の美術品や工芸品が大量に輸出されていきました。



もともとヨーロッパ様式の家具に日本的な装飾を施しているので、全体のデザインはとても和洋折衷。

-  **小松** 海外に輸出されていった美術工芸品の中でも漆は特に大人気で、注文に応じて何万もの漆器が生産され、インドなどを経てヨーロッパへと渡っていきました。
-  **佐藤** 漆は今でも作るのに手間暇がかかりますよね。それが大量生産されるほど人気が高かったのですか？
-  **小松** 大流行ですよ。鎖国以降も輸出されていたほどですから。こちらのような洋櫃は、サイズ違いも多く残っています。大量に運べるように入れ子で作られていたのでしょう。
-  **佐藤** オリエンタルなモチーフが描かれていますが、ぱっと見では宝箱みたいで日本製とは思えませんでした。
-  **小松** 形はヨーロッパの伝統に基づいたもので、それに日本的な装飾や蒔絵の技術が施されています。また、鮫皮(実はエイの皮)を器物の表面に貼り付けて装飾する技法も見られます。このつぶつぶ模様の部分がエイの皮です。
-  **佐藤** 当時、ヨーロッパの人はデザインの要望など、どのように注文していたのでしょうか？
-  **小松** 注文主の要望を、職人に細かく指示するコーディネーターがいたと考えられます。

-  **佐藤** 洋櫃の用途は何だったのでしょうか？
-  **小松** 小さいものは小物入れに、大きいものは衣類入れなどに使用されていたようです。また、ヨーロッパの宮殿や美術館などで見かけるものの中には、金色に飾った豪華な台座に乗せた洋櫃もあり、装飾品としても愛好されていたことが分かります。
-  **佐藤** ヨーロッパでは、今でも普通に見ることができるのでしょうか？
-  **小松** ポルトガル、イギリスなどの大きな博物館に収蔵されています。いつも展示されているとは限りませんが……。また、キリスト教の儀式に用いる漆器もたくさん輸出されていたので、教会の奥に大事にしまわれていることもあります。
-  **佐藤** ヨーロッパ人を魅了した日本の美と旅先で会えるかも。それを楽しみの一つに、次回の旅の計画を立ててみます!



表面がブツブツのエイの皮に漆を塗って研ぎ出すと、このように白いつぶつぶ文様が表れます。南洋で採れるエイの皮はたいへんな貴重品で、刀の柄(つか)の部分にも使われていました。

学芸部長 小松大秀
東京国立博物館に30年勤務、2005年より現職。専門は日本の漆で、その分野では第一人者。趣味はスポーツ。オシャレも好きで、この日は春色コーディネート。

佐藤直子さん
メディア制作ディレクター。旅行が趣味で、これまで訪れた国は14カ国、渡航回数は30回を軽く超える。旅先で新しいものや珍しいものを発見するのが好き。



※写真は合成です。

からよまきえ さめがわはりようびつ
花鳥蒔絵鮫皮貼洋櫃 江戸時代・17世紀<当館所蔵>
輸出漆器の一つで、類品中最大級の大きさを誇ります。表面には鳳凰や虎といった日本風の文様が蒔絵で描かれていて、エキゾチックな雰囲気を醸し出しています。また、内側には緑色の漆が塗ってありますが、これはとても美しく、17世紀のごくわずかな期間に限っておこなわれた装飾法です。
展示期間:3/27～7/1

Exhibition Schedule

「日本陶磁の名宝」

2007年7月7日(土)～8月26日(日)

今秋、ポルトガルのソアーレス・ドス・レイス国立美術館で開催予定の本展覧会に先駆け、世界最古の縄文土器から近代・現代の作品まで、日本各地の陶磁器を一挙公開します。世界に誇る“技”と“美”をぜひご覧ください。

主な出品作品

- 緑釉四足壺 平安時代<当館蔵> ●古丹波秋草文四耳壺 室町時代<文化庁蔵>
 - 仁清色絵若松図茶壺 江戸時代<文化庁蔵> ●油滴天目茶碗 中国・南宋時代<当館蔵>
- *以上、すべて重要文化財



色絵藤棚文皿<当館所蔵>

4～6月 Event Schedule

| 日付 | イベント名 | 場所 | 時間 |
|-----------------|---|-------------|------------------------------|
| 4月15日(日) | きゅーはくミュージアムコンサート | 1Fエントランスホール | ①13:00 ②15:00 |
| 5月3日(木・祝) | きゅーはくミュージアムコンサート | 1Fエントランスホール | ①13:00 ②15:00 |
| 5月13日(日) | 第6回九博朝日寄席 「志ん生を語り継ぐー高弟圓菊と孫弟子達」(有料) | 1Fミュージアムホール | 13:00開場 13:30開演～16:00終了予定 |
| 5月20日(日) | きゅーはくミュージアムコンサート | 1Fエントランスホール | ①13:00 ②15:00 |
| 6月16日(土)・17日(日) | 日中文化・スポーツ交流年記念 日中合同・北京子どものための演劇祭帰国報告公演(有料) | 1Fミュージアムホール | 午前・午後 |
| 6月24日(日) | きゅーはくミュージアムコンサート | 1Fエントランスホール | ①13:00 ②15:00 |

*上記のイベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細については、決まり次第ホームページでお知らせします。
*一部、有料イベントがあります。

■開館時間

9:30～17:00(入館は16:30まで)

■休館日

月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)
※ゴールデンウィーク(4/28～5/6)無休

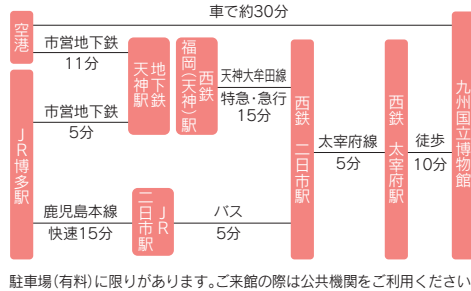
■観覧料(特別展は別料金)

一般:420円(210円)
高校生・大学生:130円(70円)

■特別展「未来への贈りもの」観覧料

一般:1,300円(1,100円)
高校生・大学生:1,000円(800円)
小学生・中学生:600円(400円)

■交通案内



駐車場(有料)に限りがあります。ご来館の際は公共機関をご利用ください。



* ()内は20名以上の団体料金*身体障害者等とその介護者1名は無料。入館の際に身体障害者手帳等をご提示ください。*中学生以下、70歳以上の方は、文化交流展示については無料。入館の際に年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。*特別展「未来への贈りもの」の観覧料で、文化交流展示もご覧いただけます。*満65歳以上の方は、特別展「未来への贈りもの」の()内料金でご入場いただけます。入館の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。*特別展「未来への贈りもの」の開催期間は4/10(火)～6/10(日)です。

キャンパス・メンバーズ 会員募集中!!

博物館機能の教育機関における活用促進を目指し、平成19年度から大学等を対象としたキャンパス・メンバーズ会員制度を導入することとなりました。会員となった大学等には下記の特典がございます。この機会にぜひご入会ください。年会費やお申し込み方法等の詳細は当館ホームページをご覧ください。

- 会員校の特典 ①平常展の無料観覧 ②特別展の割引観覧 ③刊行物の無料提供
- ④博物館実習、講座等の優遇 ⑤施設利用、イベント等への優先措置

*このほか、学生証、職員証の提示により館内のレストラン、カフェ、ミュージアムショップの利用についても割引の特典があります(書籍等、一部割引対象外の商品あり)。



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

<http://www.kyuhaku.jp>

☎案内 NTTハローダイヤル 0570-00-8886

※オペレーターが対応します。通話料が発生します。